



# 高齢者医療制度を考える

— 国民皆保険制度を堅持し、安心・信頼

の医療制度の確立を求めて —

主催：地域医療研究会・自治労

民主党政権になって、前政権と異なり、中医協委員の医療関係委員の推薦が日医から変わり独自で選定したりして、医療政策に、変化の兆しが見え始めました。さらに、診療報酬がほんの雀の涙ほど増額になりました。

民主党はマニフェストで「後期高齢者医療制度を廃止し、国民皆保険を守る」「被用者保険と国民健康保険を段階的に統合し、将来、地域保険として一元的運用を図る」としています。

医療崩壊が叫ばれて数年が経ちますが、その解決策は見通しさえ出来ていません。そのような状況の中で与野党逆転の政権交代後始めての通常国会が開催され本格的な論戦が開始されます。後期高齢者医療制度を廃止した後、どのような医療保険制度を展望するのか、また国民皆保険制度を堅持されるために、どのような保険制度になるのか、その財源はどのように手当てされるのか、など多くの論点が予想されます。

そのため標記のシンポジウムを開催し、そうした論点と課題について論議することとしました。多くの会員のご参加をお待ちしています。

日時：2010年1月31日（日）12：30 受付開始  
13：00 開始 16：00 終了  
場所：四ツ谷駅前「主婦会館」9階「スズラン」  
千代田区六番町15-1 - 03-3265-8111  
参加費：500円（資料代として）  
参加規模：100人程度（先着順）

## シンポジスト

権丈善一 慶應義塾大学商学部教授  
小島茂 連合 総合政策局局長  
石井暎禧 日本病院会常務理事  
新田國夫 在宅ケアを支える診療所  
・市民全国ネットワーク副会長  
唐沢剛 厚労省担当審議官

## コーディネーター

五島正規 医療法人防治会理事長

## 連絡先

地域医療研究会 事務局  
tel03-5228-4960 fax03-5228-1715  
w-1942@ph.highway.ne.jp

